

議会 かながわ

令和元年 第2回定例会
(5月14日から7月8日まで)

No.163

令和元年(2019年)
8月19日(月)発行



県議会ホームページ <http://www.pref.kanagawa.jp/gikai/>



神奈川県議会

検索

編集・発行・お問合せ 議会局政策調査課
〒231-8588 横浜市中区日本大通 1
電話 (045) 210-1111(代表) (045) 210-7564(直通)
FAX (045) 210-8907

緑のハートのマーク は、県議会のマークです。緑は神奈川県を自然を表し、開かれたハートは、県議会の活動で県民の皆さまの心をつなぐたいという、願いがこめられています。

インターネット中継配信中

本会議、議会運営委員会、常任委員会、特別委員会、
予算委員会、決算特別委員会において行っています



議長、副議長、各委員会の構成決まる

令和元年第2回神奈川県議会定例会は、5月14日から7月8日まで開かれました。

5月14日には、正副議長の選挙が行われ、議長には梅沢裕之議員(自民党)、副議長には渡辺ひとし議員(公明党)が選出されました。また、議会運営委員会の委員・正副委員長の選任が行われました。

5月16日には、常任委員会の委員・正副委員長の選任、同日及び6月12日には、特別委員会の設置と委員・正副委員長の選任などが行われました。

令和元年度6月補正予算等を可決

7月8日には、当初予算(骨格予算)に対する肉付けを行うことにより、「持続可能な神奈川」を更に進化・発展させるとともに、「未来社会創造」につながる施策をスタートさせる、総額252億300余万円の補正予算措置を講じた令和元年度6月補正予算を可決しました。また、神奈川県森林環境譲与税基金条例などを可決しました。

ともに生きる社会の実現に向けて

7月22日(月)、相模女子大学グリーンホール(相模原市文化会館)にて行われた津久井やまゆり園事件追悼式に、梅沢議長と渡辺副議長が出席しました。

そして、7月26日(金)、議長は、このような事件が二度と繰り返されないよう、共生社会の実現に県議会としても全力を尽くすことを改めて誓い、次のとおり声明を発表しました。

共生社会の実現を目指し更なる取組を進める議長声明

平成28年7月26日未明に県立津久井やまゆり園で、多数の利用者等の命が奪われる大変痛ましい事件が発生してから、本日で3年を迎えます。

事件で亡くなられた方々と、最愛のご家族を失われたご遺族の皆様方に、改めてお悔やみ申し上げますとともに、事件により心身に傷を負われた方々に、心からお見舞いを申し上げます。

この事件は、障がい者に対する偏見や差別的思考から引き起こされたものであり、社会に計り知れない衝撃を与えました。

神奈川県議会は、県民の代表として、二度とこのような事件が繰り返されないよう、すべての人の命を大切に、誰もがその人らしく暮らすことのできる共生社会の実現を目指す決意を示すため、平成28年10月「ともに生きる社会かながわ憲章」を県当局とともに制定し、共生の理念を広める取組を進めてまいりました。

しかしながら、平成30年度に県が実施した調査では、依然として県民の8割が憲章を知らないという結果であり、憲章をすべての県民の皆様に知っていただくとともに、障がい者に対する理解の促進と人権尊重に向けた啓発活動及び障がい者福祉政策の更なる充実に向けた取組を力強く進めていくことが必要と考えます。

よって神奈川県議会は、県民一人一人が、かけがえのない命の尊さを自覚し、ともに生きる喜びを分かち合うことのできる共生社会の実現に向けて、全力を尽くすことを、改めてここに誓います。

令和元年7月26日

神奈川県議会議長 梅沢 裕之

また、県議会では、同日、「ともに生きる社会かながわ憲章」のチラシをJR桜木町駅前配布し、憲章の理念の普及啓発を図りました。

当日は、議長、副議長、各会派代表等の議員24名が参加しました。



憲章への理解を呼び掛ける梅沢議長



チラシの配布終了後

議長



うめざわ ひろゆき
梅沢 裕之
自民党
横浜市神奈川区

「令和」という新たな時代に即した神奈川県議会を、県民の皆さまとともにつくるため、政策立案機能やチェック機能の充実強化、議会改革に取り組みます

このたび、名誉と伝統ある神奈川県議会第112代議長に就任いたしました。重責に身の引き締まる思いです。

現在、本県では「かながわランドデザイン」第3期実施計画の策定及びその実現に向けた取組が進められています。

県議会といたしましても、持続可能な社会の実現に向けて、しっかりとその役割を果たしていかなければなりません。

中でも、「ともに生きる社会かながわ」の実現に向けた取組につきましても、引き続き強く推進し、「ともに生きる社会かながわ憲章」の理念の浸透を図り、誰もが互いに支え合いながら共生できる地域社会づくりに向けて、全力を尽くしてまいります。

また、今年は、新天皇陛下が即位され、「令和」という新たな時代を迎えました。

新たな時代に即した県議会を県民の皆さまとともにつくるため、政策立案機能や県政へのチェック機能のさらなる充実強化を目指すとともに、県議会の発信力の強化など、議会改革にも真摯に取り組み、粉骨砕身して職務を全うしてまいります。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

副議長



わたなべ
渡辺 ひとし
公明党
藤沢市

県民の皆さまの声にしっかりと耳を傾け、魅力と笑顔あふれる神奈川をつくるため、充実した議会審議に努めます

このたび、栄えある神奈川県議会第113代副議長に就任いたしました。誠に身に余る光栄であります。

さて、県政の現状を見ると、地域経済の活性化、共生社会の実現、安全で安心して暮らせるまちづくりの推進をはじめ、ラグビーワールドカップ2019™や東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催など、速やかな対応が求められている課題が山積しています。

こうした課題を解決し、魅力と笑顔あふれる神奈川をつくるためには、我々県議会が県民の皆さまの声にしっかりと耳を傾け、行政と十分な議論を重ねていくことが大変重要です。

「令和」という新しい時代を迎え、新たな気持ちで、円滑な議会運営を図り、より充実した議会審議に誠心誠意努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

第2回定例会 主な活動

本会議など

(5月14日~6月11日)
●議長、副議長の選出
●各委員の選任
●議案の審査
●議案の採決(8面)

本会議

(6月12日~24日)
●知事提案説明
●代表質問(2面)
●一般質問(3面)

常任委員会

(6月26日~7月3日)
●議案等の審査(6面)

特別委員会

(6月28日)
●調査

予算委員会

(7月2日)
●令和元年度補正予算案及び予算関係議案等の審査

本会議

(7月8日)
●議案等の採決(8面)

代表質問

6月17日月・18日火・19日水

会派名・選挙区は、質問時点のものです。質問順は、左上から下に続きます。

紙面の都合上、質問・答弁の一部を掲載しています。詳しくは、9月上旬発行予定の神奈川県議会会議録をご覧ください。



やなぎした つよし
柳下 剛

自民党
横浜市緑区

ヘルスケア・ニューフロンティア政策^{*1}の推進

問 三期目の任期のスタートに当たり、ヘルスケア・ニューフロンティア政策をどのような考えで展開していくのか、知事の見解を伺う。

答 ヘルスケア・ニューフロンティア推進プラン等に掲げた「最先端医療と最新技術の追求」については、特区制度の活用や拠点間連携によるイノベーション創出により、研究開発の支援と最新技術の市場化を促進するとともに、関連産業の集積を図る。また、「未病の改善」については、現在の未病の状態や将来の疾病リスクを数値で見える化する未病指標の構築を進める。さらに、「笑い」の効果の実証に取り組み、未病改善に生かしていく。

AI^{*2}を活用した治安対策

問 平成30年度のAIを活用した犯罪等

の発生予想技法の調査研究で成果が得られたか、また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に合わせてAI導入の取り組みを進めるべきと考えるが、警察本部長の見解を伺う。

答 犯罪等の発生予測に適したAIアルゴリズム^{*3}の種類や予測の精度を高めるデータの組み合わせ等の実用化に向けた成果を得た。令和2年7月頃からシステムの試験運用開始を目指していく。

ひきこもり対策

問 ひきこもりに関する実態調査の結果と、今後ひきこもり対策にどう取り組んでいくのか、知事の見解を伺う。

答 調査への回答によると、ひきこもりの約3割が40歳以上で、ひきこもりの期間5年以上が約5割であった。今後、民生委員、ケースワーカー等やホームページを通じた相談窓口の紹介など関係機関のネットワークづくりを進め、地域全体で支援していく。

このほか

かながわランドデザイン第3期実施計画、津久井やまゆり園の再生、プラごみ処理問題、森林環境増進税の活用などについて質問しました。



ながとも
長友 よしひろ

かながわ県民・民主フォーラム
相模原市緑区

ともに生きる社会かながわ実現に向けた取り組み

問 ともに生きる社会かながわの実現に向けた推進体制強化により、どのような効果を目指しているのか知事に伺う。

答 全庁横断的な取り組みの推進のため、体制を強化した。障がい者や高齢者一人一人の状況に応じた就労や文化芸術活動などの社会参加を進め、誰もが自分らしく活躍し、笑いあふれる地

域社会をつくる。
リニア中央新幹線開業

問 車両基地の観光資源化や回送線の旅客化に向けた相模原市長の表明を踏まえ、市と連携して、この取り組みを進めるべきと考えるが、知事の所見を伺う。

答 市長が表明した車両基地の観光資源化や回送線の旅客化は、宮ヶ瀬湖周辺などの地域活性化につながると考えられる。車両基地を活用した地域振興の実現に向け、JR東海の意見も聞きながら、市としっかり連携して取り組んでいく。

このほか

新しい総合計画の策定、未来社会創造、食品ロス削減の推進、教育現場の働き方改革などについて質問しました。



あかの
赤野 たかし

立憲民主党・民権クラブ
横浜市青葉区

中学校給食の意義及び重要性

問 本県の中学校給食の実施率は、平成30年5月では44.5パーセントと全国最下位の状況が続いている。成長過程に欠かせない中学校給食の意義及び重要性について、教育長の見解を伺う。

答 成長期の中学生に栄養バランスの良い食事を提供する給食は大切なものと認識している。引き続き、食育の推進や栄養教諭の配置に努めるとともに、政令市を含む各市町村教育委員会に給食の実施を働き掛けていく。

本県のヘイトスピーチ^{*4}対策

問 ヘイトスピーチの解消に向けて、期限を定めて条例制定をしていく中で、課題を整理し、具体的な議論をすべきと考えるが、知事の所見を伺う。

答 かながわ人権政策推進懇話会での

幅広い意見を踏まえ、条例制定も含め、どのような取り組みが効果的なのか整理、分析し、総合的な視点でしっかり研究していく。現時点で期限を定めての条例制定は考えていない。

地域の力を活用した防犯対策

問 防犯ボランティア団体等への情報提供など、地域の防犯活動の活性化にどう取り組んでいるのか。また、認知した犯罪やそれに至らない不審者の出沒等の情報を可能な限り提供していくことが重要と考えるが、警察本部長の見解を伺う。

答 ボランティア団体の活性化のため、情報提供や表彰、若い世代や企業等に対する防犯活動への参加の呼び掛けなどを行っている。また、子どもの安全に関する情報を配信する「ピーガールくん^{*5}子ども安全メール」など様々な媒体を活用し、身近な犯罪情報等の提供に努めている。引き続き、地域と一体となって安全・安心まちづくりを推進する。

このほか

組織再編後の行政改革、職員の民間企業への派遣、サテライトオフィスの設置促進、教員の働き方改革などについて質問しました。



くすのき りえこ
楠 梨恵子

県政会
横浜市栄区

人生100歳時代を見据えたコミュニティ^{*9}の再生

問 コミュニティ再生・活性化における通いの場^{*10}の位置づけと、その活性化や充実はどう取り組むのか、知事に伺う。

答 通いの場は、住民の支え合いが生まれるなど、コミュニティ再生・活性化に大きな役割を果たすものであり、今年度、市町村に理学療法士等を派遣す

るモデル事業を行い、住民主体の活動を支援するとともに、好事例を広め、市町村の取り組みの底上げを図る。

障がい者の高齢化に伴う支援

問 障がい者が年齢を重ねても、地域や職場で生きがいを持って生活を続けられるよう、どう取り組むのか知事に伺う。

答 市町村の相談支援体制の充実を支援し、高齢化に伴うニーズに対応できるサービスの基盤の整備を促進していく。

このほか

外国人労働者の受け入れ、国内観光客の誘致、県道の災害情報等のSNSによる発信、セーリング競技の機運醸成などについて質問しました。



いざか しんや
井坂 新哉

共産党
横須賀市

横須賀港での米海軍の過剰警備

問 米国原子力空母の横須賀港出港の際、監視活動中のヨコスカ平和船団のポートに、監視艇の米兵が機銃に手をかけ向かってきたという威嚇行動があった。県は横須賀市と一緒に抗議すべきと考えるが、どう対応したのか知事に伺う。

答 国に情報提供を求めたが、通常の

警備との報告であり、抗議等は行ってない。今後も米軍基地の運用に関し、適時適切な情報提供等を求めていく。

障がい者差別解消条例制定

問 県内でも障がい者差別と見受けられる事例があることを受けとめ、差別解消に向けた条例制定が必要と考えるが、知事の見解を伺う。

答 条例制定は考えていないが、相談対応や事業者等への普及啓発をしっかり進める。

このほか

子どもの貧困対策、横須賀火力発電所、建設労働者の働き方改革、教員の働き方改革と加配措置、日米地位協定などについて質問しました。



にしむら
西村 くにこ

公明党
川崎市川崎区

盲ろう者支援センターの設置

問 盲ろう者支援センターの開設に向け、どう取り組んでいくのか、知事に伺う。

答 今年9月末までに、横浜市と藤沢市に開設し、週6日間、いずれかで相談体制を整える。また、当事者団体等にチラシを配布し、家族や支援者を通じてセンターを周知する。今後も、当事者の意見を伺い、進めていく。

AYA世代^{*6}のがん対策の推進

問 学業、仕事、妊娠・出産等も考えなければならないAYA世代のがん対策について、どう取り組み、県立病院での支援充実を図るのか、知事に伺う。

答 拠点病院に、丁寧な説明や専門医療機関の紹介等を周知するとともに、妊よう性^{*7}温存治療への補助や、女性臨床心理士の派遣を行う。また、がんセンターを中心とした、がん診療連携協議会で、AYA世代に特化した検討を行う等、医療機関相互の連携強化を進める。

このほか

SDGs^{*8}の推進、障がい者の利便性向上、大規模災害時の要配慮者の栄養確保、災害時の県立学校の安全確保などについて質問しました。



ふじしろ
藤代 ゆうや

自民党
大和市

医療的ケア^{*11}児への支援充実に向けた取り組み

問 医療的ケア児への支援には、まだ課題が山積しており、早急に支援を充実させていくべきと考えるが、今後、どう取り組んでいくのか、知事に伺う。

答 支援を総合的に調整するコーディネーターの養成や看護師を配置する保育所への補助に加え、新たに医療的ケア児の通学支援を行う市町村への補助を補正予算として提案した。また、実施

中の医療的ケア児の実態調査の結果を秋頃までに取りまとめ、当事者ニーズに沿った支援策を具体的に検討していく。

観光振興に向けた取り組み

問 観光消費額総額の増加を図るため、外国人旅行者の延べ宿泊数の目標を2022年度に320万人泊と設定しているが、具体的な取り組みについて、知事に伺う。

答 MICE^{*12}の誘致や、魅力的な夜の観光コンテンツを提供するナイトタイムエコノミー^{*13}など、県内での宿泊や周遊を更に促す取り組みを進め、観光振興を図っていく。

このほか

大規模災害対策、西湘海岸における侵食対策、児童虐待防止対策、子育て環境の充実などについて質問しました。



一般質問

6月21日金・24日月

紙面の都合上、質問・答弁の一部を掲載しています。詳しくは、9月上旬発行予定の神奈川県議会会議録をご覧ください。

会派名・選挙区は、質問時点のものです。質問順は、左上から下に続きます。

たけだ しょう 武田 翔 自民党 横浜市港北区
県立病院における薬剤の適正使用

問 抗がん剤の注射薬の残液の廃棄分に相当する金額が全国で年間数百億円になると試算がある。医療費抑制のため、抗がん剤等の高額な薬剤の適正使用に県立病院が率先して取り組むべきと考えるが、知事の見解を伺う。

答 抗がん剤を残さず複数回に分けて使用している先進的な病院の情報を収集しながら、適正使用の方策や必要な体制を検討し、県立病院における薬剤の適正使用を進める。

このほか 農地の有効活用、県民との協働による水源の森林を守る取り組み、ヤングアメリカンズ*14などについて質問しました。

ながた てるじ 永田 てるじ 自民党 茅ヶ崎市
地域における未病改善の取り組み

問 市町村の効果的な未病改善の取り組みを全県にどう発展させ、また、オーラルフレイル*16対策を地域に浸透させるための市町村支援にどう取り組むのか、知事に伺う。

答 会議の場等を活用し、未病改善の効果的な取り組みの市町村間での情報共有を図る。また、オーラルフレイル対策は、「改善プログラム」を改良するとともに、市町村の保健指導で役立つよう簡易版プログラム策定も検討する。

このほか 茅ヶ崎ゴルフ場の事業者募集、相模湾沿岸における海岸浸食対策等、介護人材の確保などについて質問しました。

さかい まなぶ 栄居 学 立憲民主党・民権クラブ 川崎市川崎区
県立学校の施設開放の推進

問 音楽室や美術室等の特別教室を含め、多くの県民が利用できるよう施設開放にどう取り組むのか、教育長に伺う。

答 県立学校が地域コミュニティの核の一つとして地域に貢献できるよう、特別支援学校では、新たに警備員を配置して安全面の課題を解消し、開放を進める。また、県立学校の特別教室でも、生徒の個人情報の管理等の課題を解決し、施設開放を進めるための検討をしている。

このほか 選挙に名を借りたヘイトスピーチ、動物愛護ボランティアの負担軽減、ラグビーワールドカップなどについて質問しました。

いちかわ よし子 市川 よし子 立憲民主党・民権クラブ 川崎市幸区
県立高校における次世代へ向けた教育

問 IT*17-1やAIなどの技術により「学校の当たり前」が変わる今、技術をどう授業に生かすかが大事である。変化の激しい社会を生きる力を育むため、ICT*17-2を活用した次世代へ向けた教育にどう取り組むか、教育長に伺う。

答 全県立高校にICT機器やネットワーク環境を整備し、また、クラウド型サービス*18を活用した「探求的な学び」を行い、生徒の課題発見・解決能力の育成につなげる。

このほか 公平な子ども子育て支援のあり方、戦略的なりカレント教育*19の推進、成年後見制度*20などについて質問しました。

すすき ひでし 鈴木 ひでし 公明党 横浜市鶴見区
シニア(プラチナ)世代の活躍に向けた就業支援

問 シニアがプラチナ世代として生き生きと長く活躍できるよう、就業支援の充実を図るべきと考えるが、どう取り組んでいくのか、知事に伺う。

答 65歳以上の方専用の相談窓口を新たに設置し、シニアが活躍する介護や保育等の現場見学や、短期間のインターンシップ(職場体験)の調整、シニアが新たな分野で活躍する好事例の発信に取り組む。

このほか 認知症サポーター及びオレンジパートナー*15の活動促進、災害時のペット避難とマイクロチップ推進などについて質問しました。

いしかわ たくみ 石川 巧 自民党 三浦市
小網代の森の利用促進

問 今年6月の「小網代の森インフォメーションスペース*21」設置を契機に、関東唯一といわれる貴重な生態系を保つ小網代の森に、より多くの利用者を迎え入れるために、今後どう施設整備を進め、魅力を発信するのか知事に伺う。

答 ドローンで撮影した迫力ある映像の提供、引橋入口の路面整備、環境学習用モデルコースの設定と学校への地図配付により、小網代の森の魅力を積極的に発信していく。

このほか 総合型地域スポーツクラブ*22への支援、三崎漁港の水産業活性化、海岸の活用、県立都市公園の活用などについて質問しました。

いしかわ ひろり かながわ 石川 裕憲 かながわ県民・民主フォーラム 川崎市麻生区
高卒就職支援の取り組み

問 就職環境の変化に対応した生徒の企業理解促進や就職に向けた材料・機会提供と、勤務時間が障壁であるスクールキャリアカウンセラー制度への対応について、教育長に伺う。

答 企業から直接話を聞く「企業説明会」等の機会を、より多くの生徒が得て、自分に適した企業の選択が進むよう取り組む。また、教員とカウンセラーの最も効果的な役割分担と連携を検証した上で、制度の在り方を検討する。

このほか 病児・病後児保育と休日保育の環境整備、支援を要する子ども・家庭のための取り組みの格差是正などについて質問しました。

あくたがわ かおる 芥川 薫 自民党 座間市
地域コミュニティを支えるキーマンへの支援

問 地域コミュニティの活性化には、市町村の取り組みや課題を的確に把握し、そこで活躍するキーマンをサポートすることが重要だが、どう支援していくか、知事に伺う。

答 市町村と連携しながら、コミュニティの鍵を握る人材や団体の功績を広く世間に知っていただく取り組みを進め、キーマンと呼ばれる方々の更なる活躍のきっかけや、人材の掘り起こしにつなげる。

このほか 不登校対策、水害や土砂災害からの避難対策、県道42号防災工事、健康寿命延伸への市町村支援などについて質問しました。

用語解説

2面 3面

2面

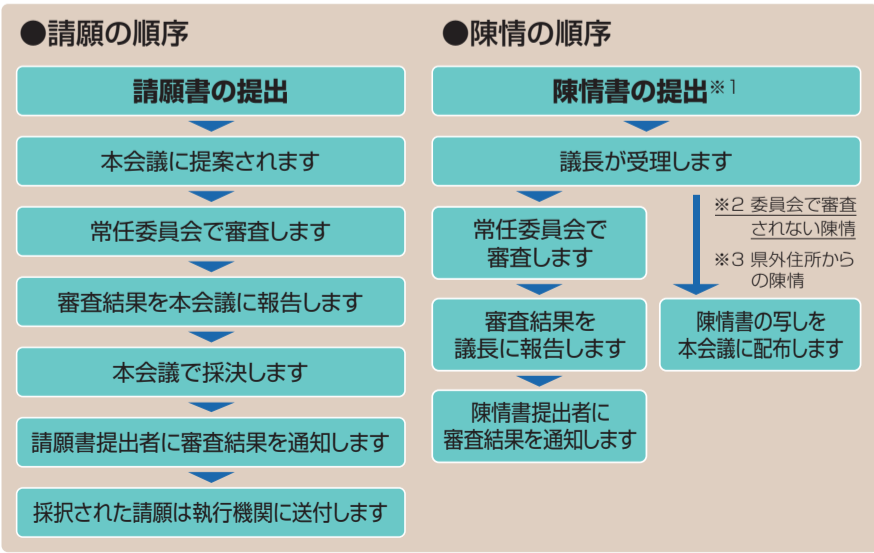
- ※1 **ヘルスケア・ニューフロンティア政策**
「最先端医療・最新技術の追求」と「未病の改善」の二つのアプローチを融合させた取り組みを進める県の政策のこと。
- ※2 **AI**
Artificial Intelligence (人工知能) の略。
- ※3 **アルゴリズム**
ある特定の問題を解いたり、課題を解決したりするための計算手順や処理手順のこと。
- ※4 **ヘイトスピーチ**
特定の人種や民族、宗教などの少数者に対して、暴力や差別をあおったり、おとしめたりする侮蔑的な表現のこと。
- ※5 **ビーガルくん**
神奈川県警察のシンボルマスコット。
- ※6 **AYA世代**
思春期と若年成人 (Adolescent and Young Adult) の頭文字から作られた言葉で、10代後半から30代の人達を指す。
- ※7 **妊よう性**
妊娠するための力のこと。
- ※8 **SDGs**
Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標) の略。国連サミットで採択された包括的な17の目標のこと。
- ※9 **コミュニティ**
地域社会など、所属意識を持った人々の集まりのこと。
- ※10 **通いの場**
高齢者の方々が「日常的に」「お住いの地域で」「地域の方々とふれあう」ことができる場のこと。
- ※11 **医療的ケア**
たんの吸引や鼻などから管を通して栄養剤を流し込む経管栄養など、在宅で家族が日常的に行っている医療的介助行為のことで、医療行為と区別している。
- ※12 **MICE**
Meeting(会議)、Incentive Travel(報奨旅行)、Convention(国際会議)、Exhibition(展示会)の頭文字からの造語で、国際的な会議や学会、見本市などの総称。
- ※13 **ナイトタイムエコノミー**
文化施設の開館時間延長、鉄道の営業時間延長など、誰もが昼と夜に同じ行動がとれる環境を目指す取り組みのこと。

3面

- ※14 **ヤングアメリカンズ**
米国に本部を置く非営利団体。5月に横浜市内の小学校で児童が米国の若者らと一緒にダンスのショーを作り上げる取り組みが行われた。
- ※15 **オレンジパートナー**
認知症の人やその家族を温かく見守る応援者として養成している「認知症サポーター」のうち、そのステップアップ講座を受講した人。
- ※16 **オーラルフレイル**
高齢者の歯・口腔機能の低下により、虚弱や老衰など介護が必要となる一歩手前の段階のこと。その予防が全身の健康に寄与することがわかってきている。
- ※17-1 **IT** / ※17-2 **ICT**
ITはコンピューターなどの情報技術、ICTは情報通信技術のこと。
- ※18 **クラウド型サービス**
従来は利用者が手元のコンピュータで利用していたデータやソフトウェアを、ネットワーク経由で、サービスとして利用者に提供するもの。
- ※19 **リカレント教育**
本来の意味は、「職業上必要な知識・技術」を修得するために、フルタイムの就学と就職を繰り返すこと。日本ではこれを広くとらえ、働きながら学ぶ場合なども含めている。
- ※20 **成年後見制度**
認知症、障がいなどの理由で判断能力の不十分な方々を保護・支援する制度のこと。
- ※21 **小網代の森インフォメーションスペース**
三浦市の市民交流センター内の、小網代の森に係る情報提供施設。
- ※22 **総合型地域スポーツクラブ**
地域住民による運営により、身近な中学校区程度の生活圏において学校体育施設等を拠点に、子どもから高齢者まで、様々なスポーツ愛好者が参加できるスポーツクラブのこと。

請願・陳情のご案内

県政について、要望や意見等があるときは、どなたでも請願書や陳情書を県議会に提出できます。県議会議員の紹介のあるものを請願、ないものを陳情といい、提出された請願・陳情は次の流れで取り扱われます。



- ※1 請願・陳情の提出期日は原則、付託日の休日を除く2日前となります。点字による請願・陳情の提出期日は原則、付託日の休日を除く7日前となります。
- ※2 公序良俗に反するもの、個人の私生活の秘密を暴露するもの、個人又は団体の名誉毀損となるものなど、委員会で審査されない場合があります。その場合は、本会議に陳情書の写しが配布されます。詳細については、県議会ホームページに掲載しておりますので、ご確認ください。
- ※3 県内に住所を有しない方から提出された陳情については、委員会で審査されず、本会議に陳情書の写しが配布されません。

■お問合せ 議事課委員会グループ 電話：(045)210-7546



右のQRコードからホームページにアクセスできます。

手話通訳のご案内

本会議の代表質問日において、傍聴席でもインターネット議会中継でも手話通訳映像がご覧いただけます。代表質問日以外に手話通訳等をご希望の方は、傍聴希望日の14日前までにご連絡ください。

■お問合せ 政策調査課広報・調整グループ
電話：(045)210-7564
FAX：(045)210-8907

選挙区別議員紹介

横浜市

鶴見区(定数3)
川崎 修平 民主党
鈴木 ひでし 公明党
ためや 義隆 立憲民主党・民権クラブ

神奈川区(定数3)
中村 武人 立憲民主党・民権クラブ
上野 たつや 共産党

西区(定数1)
加藤 元弥 自民党

中区(定数2)
作山 ゆうすけ 立憲民主党・民権クラブ
原 聡祐 自民党

南区(定数2)
新堀 史明 自民党
岸部 都 立憲民主党・民権クラブ

港南区(定数2)
桐生 秀昭 自民党
浦道 健一 立憲民主党・民権クラブ

保土ヶ谷区(定数2)
高橋 栄一郎 自民党
望月 聖子 立憲民主党・民権クラブ

旭区(定数3)
須田 こうい 立憲民主党・民権クラブ
いそもと 桂太郎 自民党
小野寺 慎一郎 公明党

磯子区(定数2)
あらい 絹世 自民党
市川 さとし 立憲民主党・民権クラブ

金沢区(定数2)
大村 悠 自民党
松崎 淳 自民党

港北区(定数4)
嶋村 ただし 自民党
菅原 あきひと 立憲民主党・民権クラブ
武田 翔 自民党
大山 奈々子 共産党

緑区(定数2)
柳下 剛 自民党
古賀 照基 立憲民主党・民権クラブ

青葉区(定数3)
小島 健一 自民党
赤野 たかし 立憲民主党・民権クラブ
内田 みほこ 自民党

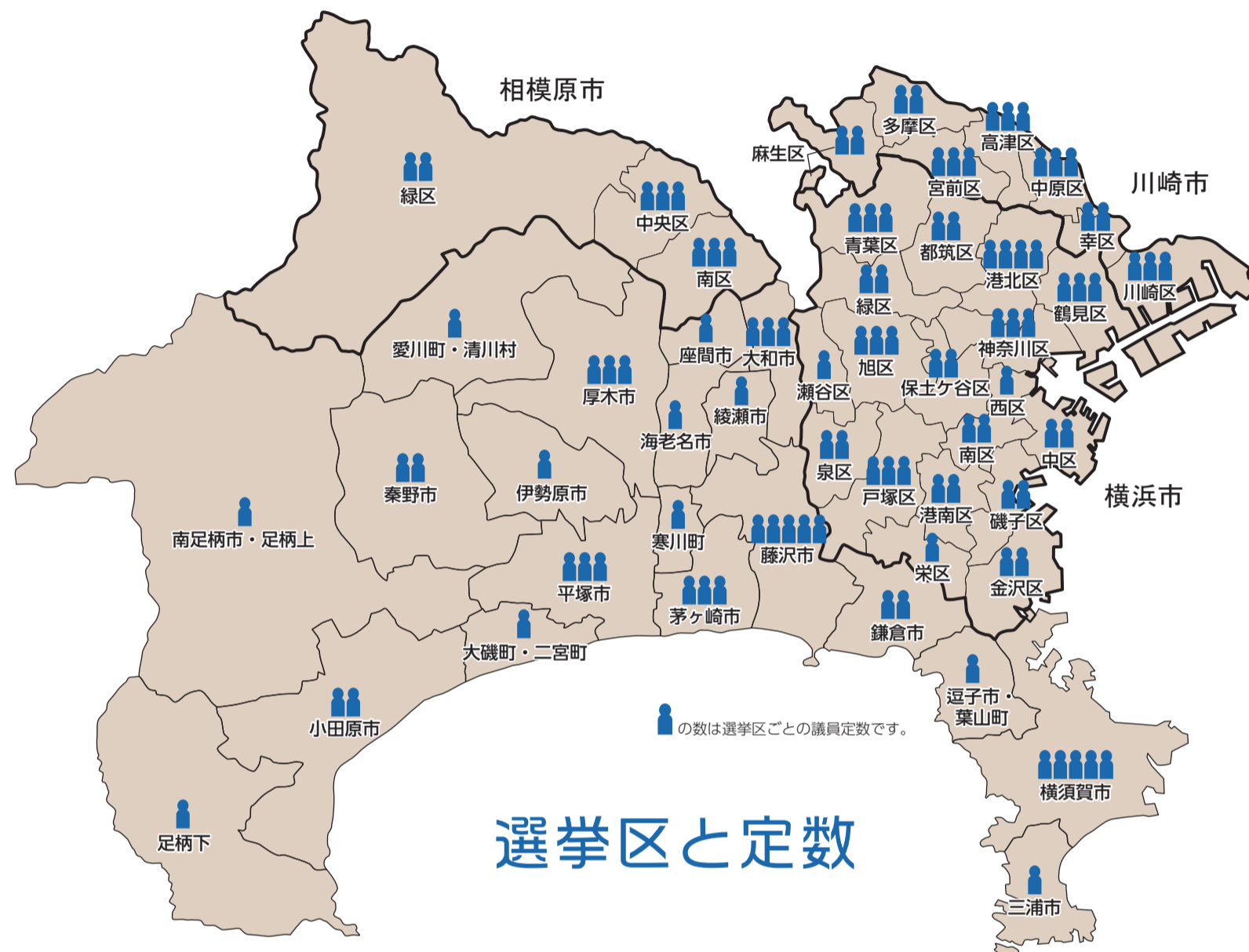
都筑区(定数2)
すとう 天信 立憲民主党・民権クラブ
しきだ 博昭 自民党

戸塚区(定数3)
松田 良昭 自民党
北井 宏昭 わが町
曾我部 久美子 かながわ県民・民主フォーラム

栄区(定数1)
楠 梨恵子 県政会

泉区(定数2)
田中 信次 自民党

瀬谷区(定数1)
松本 清 立憲民主党・民権クラブ
田村 ゆうすけ 自民党



選挙区と定数

川崎市

川崎区(定数3)
杉山 信雄 自民党
西村 くにこ 公明党
栄居 学 立憲民主党・民権クラブ

幸区(定数2)
田中 徳一郎 自民党
市川 よし子 立憲民主党・民権クラブ

中原区(定数3)
川本 学 自民党
たきた 孝徳 立憲民主党・民権クラブ
君嶋 ちか子 共産党

高津区(定数3)
小川 久仁子 自民党
斉藤 たかみ 立憲民主党・民権クラブ
石田 和子 共産党

宮前区(定数3)
持田 文男 自民党
佐々木 ゆみこ 神奈川ネット

多摩区(定数2)
柳瀬 吉助 立憲民主党・民権クラブ
土井りゆうすけ 自民党
青山 圭一 かながわ県民・民主フォーラム

麻生区(定数2)
石川 裕憲 かながわ県民・民主フォーラム
相原 高広 県政会

相模原市

緑区(定数2)
長友 よしひろ かながわ県民・民主フォーラム
山口 美津夫 自民党

中央区(定数3)
佐々木 正行 公明党
てらさき 雄介 立憲民主党・民権クラブ
河本 文雄 自民党

南区(定数3)
細谷 政幸 自民党
京島 けいこ かながわ県民・民主フォーラム
小林 大介 立憲民主党・民権クラブ

| 会派別議員数等 | | | | |
|-------------------------|----------------|------|---------|---------|
| 会派名 | 呼称 | 議員数 | 団長 | 政務調査会会長 |
| 自由民主党神奈川県議会議員団 | 自民党 | 49人 | しきだ 博昭 | 長田 進治 |
| 立憲民主党・民権クラブ神奈川県議会議員団 | 立憲民主党・民権クラブ | 26人 | てらさき 雄介 | 作山 ゆうすけ |
| 公明党神奈川県議会議員団 | 公明党 | 8人 | 佐々木 正行 | 谷口 かずふみ |
| かながわ県民・民主フォーラム神奈川県議会議員団 | かながわ県民・民主フォーラム | 8人 | 近藤 大輔 | 青山 圭一 |
| 県政会神奈川県議会議員団 | 県政会 | 5人 | 相原 高広 | 楠 梨恵子 |
| 日本共産党神奈川県議会議員団 | 共産党 | 5人 | 井坂 新哉 | 大山 奈々子 |
| わが町 | わが町 | 1人 | — | — |
| 大志会 | 大志会 | 1人 | — | — |
| 足柄下郡の会 | 下郡 | 1人 | — | — |
| 神奈川ネットワーク運動 | 神奈川ネット | 1人 | — | — |
| 合計(10会派)定数 | | 105人 | | |

※会派とは…議会内で結成された、同じ考えを持った議員のグループのことを会派といいます。
※4面、5面の各会派の構成は、令和元年7月8日現在のものです。

横須賀市(定数5)
牧島 功 自民党
竹内 英明 自民党
亀井 たかつく 公明党
井坂 新哉 共産党
野田 治美 立憲民主党・民権クラブ

平塚市(定数3)
藤井 深介 公明党
森 正明 自民党
米村 和彦 立憲民主党・民権クラブ

鎌倉市(定数2)
永田 磨梨奈 自民党
飯野 まさたけ 立憲民主党・民権クラブ

藤沢市(定数5)
市川 和広 自民党
脇 礼子 立憲民主党・民権クラブ
国松 誠 自民党
松長 泰幸 県政会
渡辺 ひとし 公明党

小田原市(定数2)
おざわ 良央 自民党
佐々木 ナオミ 自民党

茅ヶ崎市(定数3)
永田 てるじ 自民党
柗 晴太郎 自民党
くさか 景子 かながわ県民・民主フォーラム

逗子市・葉山町(定数1)
近藤 大輔 かながわ県民・民主フォーラム

三浦市(定数1)
石川 巧 自民党

秦野市(定数2)
加藤 ごう 自民党
神倉 寛明 自民党

厚木市(定数3)
山口 貴裕 自民党
さとう 知一 県政会
堀江 則之 自民党

大和市(定数3)
藤代 ゆうや 自民党
菅原 直敏 大志会
谷口 かずふみ 公明党

伊勢原市(定数1)
渡辺 紀之 自民党

海老名市(定数1)
長田 進治 自民党

座間市(定数1)
芥川 薫 自民党

南足柄市・足柄上(定数1)
杉本 透 自民党

綾瀬市(定数1)
網嶋 洋一 自民党

寒川町(定数1)
山本 哲 自民党

大磯町・二宮町(定数1)
池田 東一郎 県政会

足柄下(定数1)
高橋 延幸 下郡

愛川町・清川村(定数1)
佐藤 圭介 かながわ県民・民主フォーラム

※6面、7面の各委員会等の構成は、令和元年7月8日現在のものです。

議会運営委員会

議会の運営、会議規則や委員会条例に関することなどを協議・審査します。

| | | | | | | | | |
|----------------|-----------------------|----------|---------|---------|-------|---------|-----------|--|
| 委員長 | 国 松 誠 (自民党) | | | | | | | |
| 副委員長 | たきた 孝 徳 (立憲民主党・民権クラブ) | | | | | | | |
| 委員 | 自 民 党 | 田 中 信 次 | 山 本 哲 | 田 中 徳一郎 | 原 聡 祐 | 嶋 村 ただし | 土 井 りゅうすけ | |
| 立憲民主党・民権クラブ | | 中 村 武 人 | 浦 道 健 一 | 松 本 清 | | | | |
| 公 明 党 | | 亀 井 たかつぐ | | | | | | |
| かながわ県民・民主フォーラム | | 石 川 裕 憲 | | | | | | |
| 県 政 会 | | 相 原 高 広 | | | | | | |
| 共 産 党 | | 井 坂 新 哉 | | | | | | |

常任委員会

常任委員会は、常設されている委員会で、本会議から付託された議案、請願の審査を行うほか、所管事項に関する調査も行っています。条例によって8つの常任委員会が設置され、議員はいずれか1つの委員会に所属しています（議長は除きます）。

委員名簿

| 区分 | 委員会 | 総務政策 | 防災警察 | 国際文化観光・スポーツ | 環境農政 | 厚生 | 産業労働 | 建設・企業 | 文教 |
|-----|----------------|---|---|---|--|--------------------------------------|---|---|---|
| | 委員長 | 加藤元弥 (自民党) | 渡辺紀之 (自民党) | 柳下剛 (自民党) | 米村和彦 (立憲民主党・民権クラブ) | あらい絹世 (自民党) | 中村武人 (立憲民主党・民権クラブ) | 山口貴裕 (自民党) | 市川よし子 (立憲民主党・民権クラブ) |
| | 副委員長 | 佐々木正行 (公明党) | 京島けいこ (かながわ県民・民主フォーラム) | 小林大介 (立憲民主党・民権クラブ) | 藤代ゆうや (自民党) | 新堀史明 (自民党) | 田中徳一郎 (自民党) | 栄居学 (立憲民主党・民権クラブ) | 原聡祐 (自民党) |
| 委員 | 自 民 党 | 田 中 信 次 芥 川 薫 高 橋 栄一郎 嶋 村 ただし 森 正 明 | 永 田 てるじ 市 川 和 広 杉 本 透 いそもと桂太郎 土 井 りゅうすけ | 永 田 磨梨奈 神 倉 寛 明 石 川 巧 細 谷 政 幸 松 田 良 昭 | 山 口 美津夫 田 村 ゆうすけ 内 田 みほこ 杉 山 信 雄 持 田 文 男 | 大 村 悠 おざわ 良 央 しきだ 博 昭 牧 島 功 | 加 藤 ご う 川 本 学 一 綱 嶋 洋 一 長 田 進 治 竹 内 英 明 | 榎 晴太郎 川 崎 修 平 桐 生 秀 昭 国 松 誠 之 堀 江 則 之 | 武 田 翔 山 本 哲 河 本 文 雄 小 島 健 一 小 川 久 仁 子 |
| | 立憲民主党・民権クラブ | 須田こうへい 柳瀬吉助 斉藤たかみ 松崎淳 | 菅原あきひと 飯野まさたけ たきた孝徳 松本清 | 野田治美 作山ゆうすけ | すとう天信 浦道健一 | 望月聖子 佐々木ナオミ てらさき雄介 | ためや義隆 古賀照基 | 市川さとし 岸部都 | 脇礼子 赤野たかし |
| | 公 明 党 | - | 西村くにこ | 藤井深介 | 谷口かずふみ | 渡辺ひとし | 小野寺慎一郎 | 亀井たかつぐ | 鈴木ひでし |
| | かながわ県民・民主フォーラム | 青山圭一 | - | 曾我部久美子 | 佐藤圭介 | 近藤大輔 | くさか景子 | 長友よしひろ | 石川裕憲 |
| | 県 政 会 | 楠梨恵子 | 相原高広 | さとう知一 | - | - | - | 松長泰幸 | 池田東一郎 |
| | 共 産 党 | - | - | - | 大山奈々子 | 石田和子 | 上野たつや | 井坂新哉 | 君嶋ちか子 |
| | わが町 | - | - | - | - | 北井宏昭 | - | - | - |
| | 大志会 | - | - | - | - | - | 菅原直敏 | - | - |
| | 下 郡 | - | - | - | 高橋延幸 | - | - | - | - |
| | 神奈川ネット | - | - | 佐々木ゆみこ | - | - | - | - | - |
| 現 員 | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 | |
| 定 数 | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 | |

常任委員会の活動 (5月17日・6月26日～7月3日)

| | | | |
|--|--|---|---|
| <h3>総務政策 常任委員会</h3> <p>かながわブランドデザイン第3期実施計画、SDGsの推進、行政改革大綱、未病の取り組みなどについて質疑を行いました。</p> | <h3>防災警察 常任委員会</h3> <p>箱根山噴火警戒レベルの引き上げ、川崎市多摩区登戸新町における死傷事件での犯罪被害者支援、災害時広域受援計画、被災地の被災者支援などについて質疑を行いました。</p> | <h3>国際文化観光・スポーツ 常任委員会</h3> <p>東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた取り組み、マグネットカルチャー^{※1}の推進、新たな観光の核づくり、多文化共生などについて質疑を行いました。</p> | <h3>環境農政 常任委員会</h3> <p>かながわプラごみゼロ宣言、森林環境譲与税、農泊の推進、豚コレラの発生・拡大を予防する取り組みなどについて質疑を行いました。</p> |
| <h3>厚生 常任委員会</h3> <p>地域における医療体制、津久井やまゆり園の再生、動物愛護、がん対策、受動喫煙防止条例などについて質疑を行いました。</p> | <h3>産業労働 常任委員会</h3> <p>水素ステーションの整備促進、企業誘致の取り組み、地域コミュニティの再生、ソーラーシェアリング^{※2}の普及拡大などについて質疑を行いました。</p> | <h3>建設・企業 常任委員会</h3> <p>無電柱化推進計画、Park-PFI^{※3}事業、道路の維持管理・整備、相模ダムリニューアル事業などについて質疑を行いました。</p> | <h3>文教 常任委員会</h3> <p>川崎市多摩区登戸新町における死傷事件、教員の働き方改革の推進、社会教育施設等の長寿命化・収蔵のための総合的対策、特別支援学校のスクールバスなどについて質疑を行いました。</p> |

※1 マグネットカルチャー 文化芸術の魅力で人を引きつけ、地域のにぎわいをつくり出す県の取り組みのこと。
 ※2 ソーラーシェアリング 農地に支柱を立てて、その上部に設置した太陽光パネルを使って日射量を調節し、太陽光を農業生産と発電とで共有する取り組みのこと。
 ※3 Park-PFI 都市公園における民間資金を活用した新たな整備・管理手法のこと。

特別委員会

特定の事件について審査・調査するために、必要があるときに設けられます。

委員名簿

| 委員会 区分 | かながわブランド デザイン調査 | ともに生きる社会 かながわ推進 | コミュニティ再生 | 社会問題・ 安全安心推進 | 経済・産業振興 | |
|-----------|------------------------|---|--|-------------------------------------|---|--|
| 委員長 | 嶋村 ただし (自民党) | 河本文 雄 (自民党) | 高橋 栄一郎 (自民党) | 赤野 たかし (立憲民主党・民権クラブ) | 細谷 政幸 (自民党) | |
| 副委員長 | 浦道 健一 (立憲民主党・民権クラブ) | 古賀 照基 (立憲民主党・民権クラブ) | 石川 巧 (自民党) | 綱嶋 洋一 (自民党) | 斉藤 たかみ (立憲民主党・民権クラブ) | |
| 委員 | 自民党 | 芥川 薫 新堀 史明 山口 貴裕 あらい 絹世 長田 進治 土井りゅうすけ 竹内 英明 | 山口 美津夫 市川 和広 山本 哲 田中 徳一郎 しきだ 博昭 牧 島 功 | 加藤 ごう 内田 みほこ いそもと桂太郎 持田 文男 | 永田 てるじ 田中 信次 渡辺 紀之 杉本 透 杉山 信雄 | 榎 晴太郎 永田 磨梨奈 川本 学剛 柳 下 剛一 小島 健一 堀江 則之 |
| | 立憲民主党・ 民権クラブ | 中村 武人 作山 ゆうすけ 松崎 淳 | 佐々木 ナオミ 米村 和彦 | すとう 天信 望月 聖子 脇 礼子 岸 部 都 | 飯野 まさたけ 野田 治美 市川 よし子 | 菅原 あきひと 小林 大介 |
| | 公明党 | 谷口 かずふみ | 小野寺 慎一郎 | 西村 くにこ | 藤井 深介 | 鈴木 ひでし |
| | かながわ県民・ 民主フォーラム | 近藤 大輔 | 京島 けいこ | 曾我部 久美子 | 石川 裕憲 | 佐藤 圭介 |
| | 県政会 | 楠 梨恵子 | - | 池田 東一郎 | 相原 高広 | - |
| | 共産党 | 君嶋 ちか子 | 上野 たつや | - | - | 大山 奈々子 |
| | わが町 | - | - | - | - | - |
| | 大志会 | - | - | - | - | - |
| | 下郡 | - | - | - | - | - |
| | 神奈川ネット | - | - | - | - | - |
| 現員 | 16 | 13 | 13 | 13 | 13 | |
| 定数 | 16 | 13 | 13 | 13 | 13 | |

特別委員会の所管事項

かながわブランドデザイン調査 特別委員会

かながわブランドデザインについて調査します。

ともに生きる社会かながわ推進 特別委員会

ともに生きる社会の推進、障がい者施策の推進、障がい者の就労・雇用促進、障がい者スポーツの推進、インクルーシブ教育の推進について調査します。

コミュニティ再生 特別委員会

児童虐待、いじめ対策、子どもの貧困対策、グローバル人材育成、女性の活躍推進、高齢者の社会参画、外国籍県民の地域生活、地域コミュニティ再生の取組、スポーツ活動の推進について調査します。

社会問題・安全安心推進 特別委員会

災害に強いまちづくり、交通安全対策、米軍基地問題、2025年問題に向けた取組について調査します。

経済・産業振興 特別委員会

ロボット共生社会の実現、産業振興・国際ビジネス、観光振興、企業誘致施策、エネルギー施策、交通基盤の整備について調査します。

決算 特別委員会

一般会計、特別会計、公営企業会計の決算を審査します。

※決算認定議案が提出された場合(例年9月)に、設置されます。

予算委員会

本県議会では、原則として第1回定例会中に開催されます。ただし、補正予算を審議する必要がある場合、他の定例会においても開催することができます。予算及び予算関係の議案の審査を横断的かつ多角的に行うために設置されます。

| | | | | | |
|--------------------|---------------------------------|----------------------------|----------------------------------|-----------------------------------|--------------|
| 委員長 | 原 聡 祐(自民党) | | | | |
| 副委員長 | 小野寺 慎一郎(公明党) | | 田 中 徳一郎(自民党) | | |
| 理 事 | 細谷 政幸(自民党) | | 赤野 たかし(立憲民主党・民権クラブ) | | 亀井 たかつぐ(公明党) |
| | くさか 景子(かながわ県民・民主フォーラム) | | 池田 東一郎(県政会) | | 井坂 新哉(共産党) |
| 委 員 | | | | | |
| 自 民 党 | 加藤 ごう 芥川 薫 長田 進治 桐生 秀昭 | 山口 美津夫 市川 和学 杉本 正明 | 武田 翔 市川 和広 しきだ 博昭 杉山 信雄 | 田中 信次 新堀 史明 嶋村 ただし 松田 良昭 | |
| 立憲民主党・ 民権クラブ | すとう 天信 脇 礼子 たきた 孝徳 | ためや 義隆 米村 和彦 てらさき 雄介 | 望月 聖子 小林 大介 | 柳瀬 吉助 岸 部 都 | |
| 公 明 党 | 谷口 かずふみ | | | | |
| かながわ県民・ 民主フォーラム | 佐藤 圭介 | | 曾我部 久美子 | | |
| 県 政 会 | 相原 高広 | | | | |
| 共 産 党 | 石田 和子 | | | | |

議会選出委員等

監査委員

桐生 秀昭(自民党) 松崎 淳(立憲民主党・民権クラブ)

神奈川県内広域水道企業団議会議員

小川 久仁子(自民党) 松田 良昭(自民党)

てらさき 雄介(立憲民主党・民権クラブ)

神奈川県川崎競馬組合議会議員

森 正明(自民党) 土井りゅうすけ(自民党)
牧島 功(自民党) 松本 清(立憲民主党・民権クラブ)

傍聴のご案内

傍聴をお申し込みの際には、お名前やご住所をご記入いただけます。車いすをご利用の方も傍聴していただけます。

本会議

- 開 会 通常 午後1時(午前10時30分の場合あり)
- 席 数 210席 車いす用スペース3席
- 受 付 県庁新庁舎8階 本会議開会30分前から
※団体で傍聴される場合は、あらかじめご連絡ください。

託児サービス

子育て中の方が安心して傍聴いただけるよう、託児サービスを行っています(無料)。保育士を含む託児スタッフが、原則2名体制でお子様を見守ります。お子様の年齢に合わせ、おもちゃ類もご用意します。小学校就学前までのお子様を対象で、定員は5名程度(先着順)です。利用をご希望の方は、傍聴日の7日前までに議会局までお申し込みください。



お問合せ 政策調査課広報・調整グループ 電話：(045) 210-7564

常任委員会・特別委員会

- 開 会 通常 午前10時30分
- 定 員 各委員会16人(開会30分前に定員超過の場合は抽選)
- 受 付 県庁新庁舎5階 議会局
通常は、委員会開催当日午前8時30分から

お問合せ 議事課委員会グループ 電話：(045) 210-7546

予算委員会

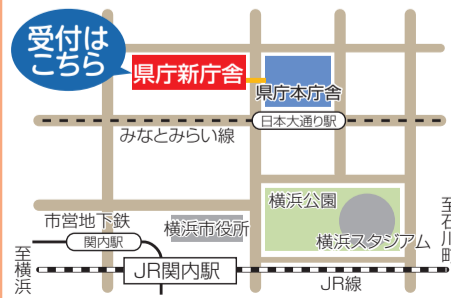
- 開 会 通常 午前10時30分 定 員 90人
- 受 付 県庁新庁舎5階 議会局
(開催については、県議会ホームページをご確認ください。)(空席がある場合は、開催日当日本庁舎4階でも受付)

お問合せ 議事課議事グループ 電話：(045) 210-7544

県庁までのアクセス

みなとみらい線「日本大通り駅」1番・県庁口からすぐ

JR京浜東北線(根岸線)/横浜市営地下鉄ブルーライン「関内駅」から徒歩約10分



議案と各会派の賛否

(会派名：左から 自民党、立憲民主党・民権クラブ、公明党、かながわ県民・民主フォーラム、県政会、共産党、わが町、大志会、下郡、神奈川ネット) ○は賛成×は反対

| 議案の分類 | 議案名 | 審議結果 | 自民 | 立憲 | 公明 | 民主 | 共産 | わが | 大志 | 下郡 | 神奈 | 備考 |
|---------------|---|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|--------|
| 令和元年度補正予算(1件) | 一般会計補正予算(第2号) | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 条例の制定(1件) | 神奈川県森林環境譲与税基金条例 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 条例の一部改正(16件) | 選挙長等の報酬等に関する条例の一部を改正する条例 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠席者等1名 |
| | 地方税法第37条の2第1項第4号に掲げる寄附金を受け入れる特定非営利活動法人等を定める条例の一部を改正する条例 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | 事務処理の特例に関する条例の一部を改正する条例 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | 神奈川県手数料条例の一部を改正する条例 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | 神奈川県県税条例の一部を改正する条例 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | 過疎地域における県税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | 神奈川県地震災害対策推進条例の一部を改正する条例 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | 神奈川県消防法関係手数料条例の一部を改正する条例 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | 神奈川県火災種類取締法関係手数料条例の一部を改正する条例 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | 神奈川県高圧ガス保安法関係手数料条例の一部を改正する条例 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | 神奈川県液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律関係手数料条例の一部を改正する条例 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | 神奈川県地域医療医師修学資金貸付条例の一部を改正する等の条例 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | 職業能力開発促進法施行条例の一部を改正する条例 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | 神奈川県建築士法関係手数料条例の一部を改正する条例 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | 神奈川県県営上水道条例の一部を改正する条例 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | 風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律施行条例の一部を改正する条例 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 契約(2件) | 特定事業契約の変更(体育センター等特定事業契約) | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | 特定事業契約の変更(自動車運転免許試験場整備等事業特定事業契約) | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| その他(10件) | 専決処分(神奈川県県税条例の一部を改正する条例) | 承認 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠席者等1名 |
| | 動産の取得(イナビル吸入粉末剤20mg 行政備蓄用) | | | | | | | | | | | |
| | 動産の取得(タミフルカプセル75 100カプセル(PTP) 備蓄用) | | | | | | | | | | | |
| | 指定管理者の指定(かながわアートホール) | | | | | | | | | | | |
| | 指定管理者の指定(西湘地区体育センター) | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | 指定管理者の指定(武道館) | | | | | | | | | | | |
| | 指定管理者の指定(スポーツ会館) | | | | | | | | | | | |
| | 指定管理者の指定(秦野ビジターセンター及び西丹沢ビジターセンター) | | | | | | | | | | | |
| | 建設事業に対する市負担金 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | 地方独立行政法人神奈川県立病院機構中期目標の変更 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 人事(3件) | 監査委員の選任 | 同意 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠席者等1名 |
| | 人事委員会委員の選任 | | | | | | | | | | | |
| | 公安委員会委員の任命 | 同意 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 議員派遣(2件) | 県政調査(石川県、8人) | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | 県政調査(秋田県、5人) | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |

令和元年第3回定例会・会議等の予定

会期：9月6日から12月18日まで(104日間)

| | |
|----------|-----------------------------------|
| 9月6日(金) | 議会運営委員会、本会議(知事提案説明)、議案説明会 |
| 11日(水) | 本会議(代表質問) |
| 12日(木) | 本会議(代表質問) |
| 13日(金) | 本会議(代表質問) |
| 18日(水) | 本会議(一般質問) |
| 19日(木) | 本会議(一般質問) |
| 24日(火) | 本会議(一般質問) |
| 25日(水) | 議会運営委員会、本会議(一般質問、付託) |
| 27日(金) | 常任委員会(総務政策、防災警察、国際文化観光・スポーツ、環境農政) |
| 30日(月) | 常任委員会(厚生、産業労働、建設・企業、文教) |
| 10月1日(火) | 常任委員会(総務政策、防災警察、国際文化観光・スポーツ、環境農政) |
| 2日(水) | 常任委員会(厚生、産業労働、建設・企業、文教) |
| 4日(金) | 特別委員会 |
| 8日(火) | (予算委員会) |
| 10日(木) | 常任委員会(全委員会) |
| 11日(金) | 決算特別委員会 |
| 15日(火) | 議会運営委員会 |
| 16日(水) | 議会運営委員会、本会議(採決) |
| 17日(木) | 決算特別委員会 |
| 18日(金) | 決算特別委員会 |
| 23日(水) | 決算特別委員会 |
| 25日(金) | 決算特別委員会 |
| 29日(火) | 決算特別委員会 |
| 31日(木) | 決算特別委員会 |
| 11月5日(火) | 決算特別委員会 |
| 7日(木) | 決算特別委員会 |
| 8日(金) | 議会報告会(経済・産業振興特別委員会) |
| 18日(月) | 議会運営委員会 |
| 25日(月) | 議会運営委員会、本会議(知事提案説明)、議案説明会 |
| 28日(木) | 本会議(代表質問) |
| 29日(金) | 本会議(代表質問) |
| 12月2日(月) | 本会議(代表質問) |
| 4日(水) | 本会議(一般質問) |
| 5日(木) | 議会運営委員会、本会議(一般質問、付託) |
| 9日(月) | 常任委員会(総務政策、防災警察、国際文化観光・スポーツ、環境農政) |
| 10日(火) | 常任委員会(厚生、産業労働、建設・企業、文教) |
| 11日(水) | 特別委員会 |
| 13日(金) | 常任委員会(全委員会) |
| 17日(火) | 議会運営委員会 |
| 18日(水) | 議会運営委員会、本会議(採決) |

※議会の日程は、変更される場合があります。
 ※最新の日程は、県議会ホームページでご覧いただくか、議会局までお問い合わせください。
 ※本会議の開会予定時間は午後1時ですが、9月18日、19日、24日、12月4日は午前10時30分開会予定です。

可決された意見書

可決された意見書【4件】

- 子どもの通学・通園時における総合的な安全対策を早急に求める意見書
- 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会において子どもたちに広く参加する機会を設けることを求める意見書
- 「労働者協同組合法案」の早期制定を求める意見書
- 再生可能エネルギーなど分散型エネルギーの更なる普及拡大を求める意見書

可決された意見書の全文は県議会ホームページに掲載しております。
<http://www.pref.kanagawa.jp/gikai/p80118.html>

神奈川県議会 意見書 🔍 検索

議場公開



- 日時** 令和元年
9月7日(土)、8日(日)
午前10時～午後5時
- 内容** 議場体験ツアー
各日3回実施
(傍聴席入場随時可)
●先着順 各回50名程度
- 受付** 事前申し込みは不要です。

ベトナムフェスタ in 神奈川 2019 同時開催

お問合せ 総務課総務グループ 電話：(045) 210-7524

詳しくは、
県議会ホームページを
ご覧ください。



ともに生きる社会かながわ憲章

～この悲しみを力に、ともに生きる社会を実現します～

津久井やまゆり園事件
この悲しみを力に、
ともに生きる社会を実現します

私たちが、あなたが心をもち、
すべての人のいのちを大切にします
暮らすことのできる地域社会を実現します
私たちが、障がい者の社会への参加を妨げる
あらゆる壁、いかなる偏見や差別も排除します
私たちは、この憲章の実現に向けて、
県民総ぐるみで取り組みます

県立津久井やまゆり園での大変痛ましい
事件を決して忘れず、真の共生社会の実
現に向け、継続して取り組んでまいります。

ともに生きる社会
かながわ憲章

朝子

議会報告会 in 相模原

日時 令和元年11月8日(金)午後2時～午後5時

場所 けやき会館5階 大樹の間
(相模原市中央区富士見6-6-23)

テーマ 交通基盤の整備の取組

経済・産業振興特別委員会を傍聴いただいた後、委員と皆さまとの間で意見交換を行います。参加申し込み方法など詳しい内容は、10月に県議会ホームページなどでご案内します。皆さまの参加をお待ちしています。



昨年の議会報告会の様子

- アクセス**
- JR横浜線「相模原駅」南口下車 徒歩20分またはバス乗車5分、下車徒歩2分
 - 小田急線「相模大野駅」北口下車 バス乗車30分、下車徒歩4分
 - JR相模線「上溝駅」下車 徒歩25分またはバス乗車5分、下車徒歩2分

お問合せ 政策調査課調査・政策法制グループ 電話：(045) 210-7567